

NY マーケットレポート (2016年10月3日)

NY市場では、手掛かり材料に乏しく、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となった。ただ、英ポンドは、メイ英首相が来年3月末までにEU離脱の意思を通知すると表明したことを受けて主要通貨に対して大幅安となった流れを引き継ぎ、序盤やや軟調な動きとなった。そして、米ISM製造業景況指数が市場予想を上回り、景気拡大・縮小の判断基準となる50を2ヵ月ぶりに回復したことを好感して、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。なお、金利先物市場では、製造業指数の改善を受けて、12月の米国の利上げ確率が60.9%（前週末59.3%）まで上昇した。その後は、週末の米雇用統計などを控えて様子見ムードも出ており、限定的な動きが続いた。

2016年10月3日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	101.39	101.66	101.22
EUR/JPY	113.85	114.14	113.63
GBP/JPY	130.37	131.50	130.15
AUD/JPY	77.74	77.76	77.38
EUR/USD	1.1231	1.1245	1.1221

LONDON	高値	安値
USD/JPY	101.46	101.34
EUR/JPY	114.03	113.84
GBP/JPY	130.76	130.21
AUD/JPY	77.86	77.70
EUR/USD	1.1242	1.1226

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	101.62	101.66	101.32
EUR/JPY	113.93	114.01	113.73
GBP/JPY	130.58	130.75	130.10
AUD/JPY	77.97	78.00	77.70
NZD/JPY	73.93	73.95	73.57
EUR/USD	1.1213	1.1240	1.1205
AUD/USD	0.7674	0.7681	0.7654

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18253.85	-54.30
S&P500	2161.20	-7.07
NASDAQ	5300.88	-11.13
日経225 (CME)	16605	+45
トロント総合	14689.04	-36.82
ボルサ指数	47601.93	+356.13
ボベスパ指数	59461.23	+1094.18

10/4 経済指標スケジュール

08:00	【ニュージーランド】9月QV住宅価格
08:50	【日本】9月マネタリーベース
09:30	【オーストラリア】9月ANZ求人広告件数
09:30	【オーストラリア】8月住宅建設許可件数
12:30	【オーストラリア】政策金利発表
14:00	【日本】9月消費者態度指数
17:30	【英国】9月建設業PMI
18:00	【欧州】8月生産者物価指数
22:00	【メキシコ】7月総設備投資
22:45	【米国】9月ISMニューヨーク

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1312.70	-4.40
NY 原油	48.81	+0.57
CME コーン	346.00	+9.25
CBOT 大豆	973.00	+19.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.794%	0.762%
3年債	0.907%	0.875%
5年債	1.183%	1.149%
7年債	1.455%	1.422%
10年債	1.626%	1.594%
30年債	2.344%	2.316%
ドイツ10年債	-0.093%	-0.119%
英国10年債	0.487%	0.746%

10/4 主要会議・講演・その他予定

- ・RBA理事会
- ・リッチモンド連銀総裁 講演
- ・IMF世界経済見通し公表

NY 市場レポート

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月メキシコ景気先行指数 0.03 (前回 0.01)

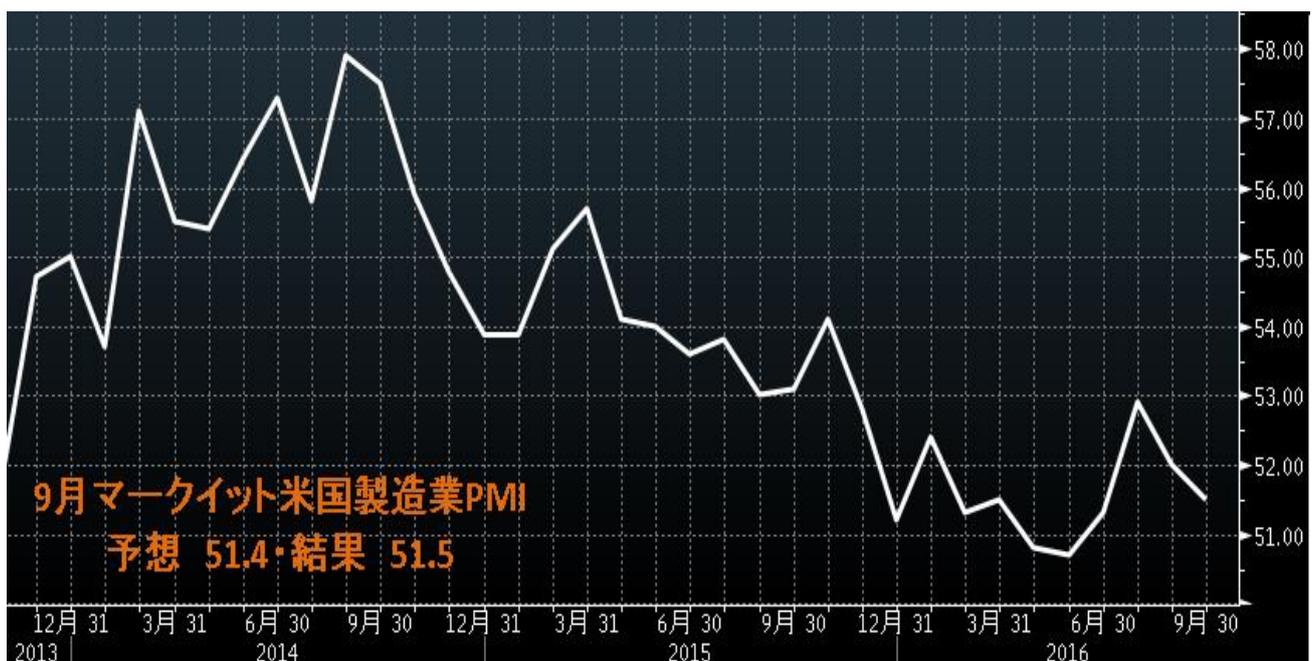


出所 : Bloomberg

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

9月マークイット米国製造業PMI 51.5 (予想 51.4・前回 51.4)



出所 : Bloomberg

23:00

<< 経済指標の結果 >>

9月ISM製造業景況指数 51.5 (予想 50.3・前回 49.4)



出所: Bloomberg

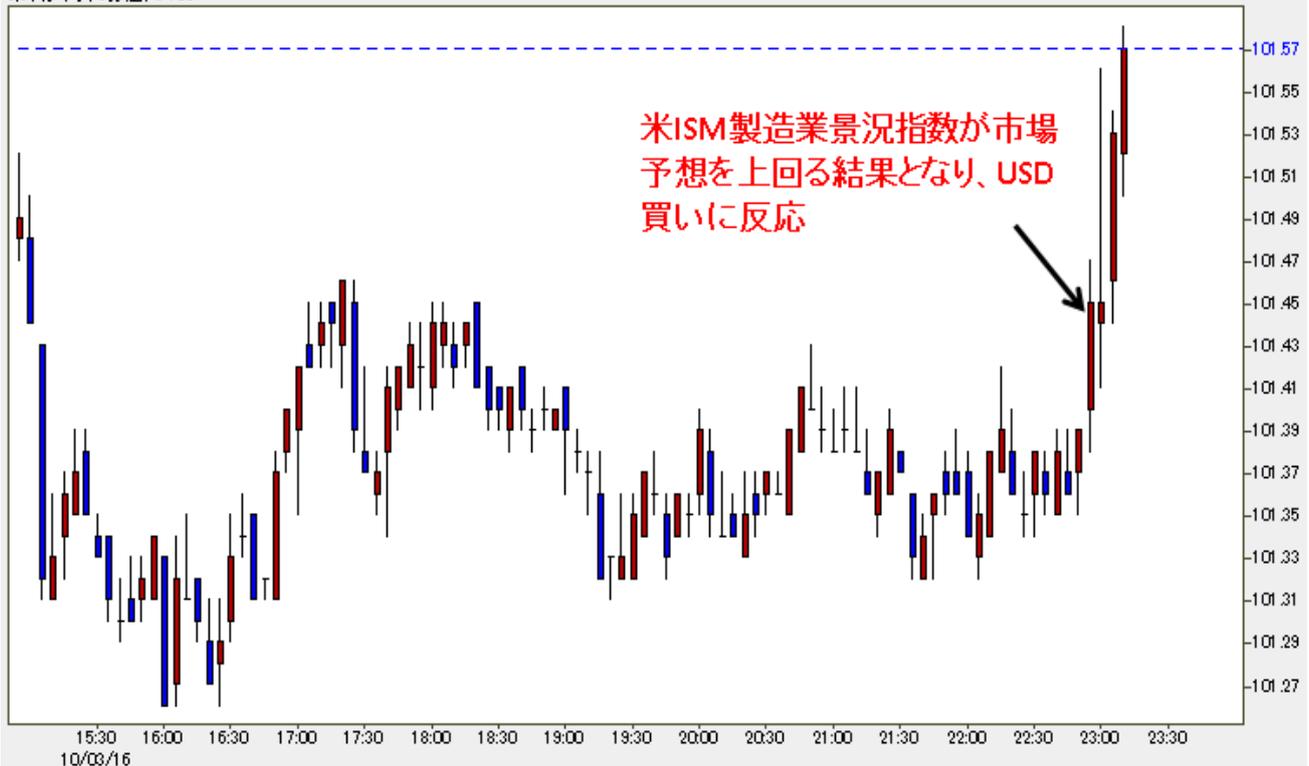
経済指標データ

<<米ISM製造業景況指数>>

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
景況	51.5	49.4	52.6	53.2	51.3	50.8
価格	53.0	53.0	55.0	60.5	63.5	59.0
生産	52.8	49.6	55.4	54.7	52.6	54.2
新規受注	55.1	49.1	56.9	57.0	55.7	55.8
受注残	49.5	45.5	48.0	52.5	47.0	50.5
入荷遅延	50.3	50.9	51.8	55.4	54.1	49.1
在庫	49.5	49.0	49.5	48.6	45.0	45.5
雇用	49.7	48.3	49.4	50.4	49.2	49.2

9月の米ISM製造業景況指数は、市場予想を上回る51.5となり、前月から2.1ポイント上昇し、製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる50を2ヵ月ぶりに上回った。関連指数では、生産が52.8(49.6)、新規受注が55.1(49.1)、受注残が49.5(45.5)、在庫が49.5(49.0)、顧客在庫が53.0(49.5)、雇用が49.7(48.3)、輸入が49.0(47.0)と前月を上回った。ただ、仕入れ価格は53.0(53.0)と横ばい、入荷遅延は50.3(50.9)、輸出は52.0(52.5)と低下した。9月は18業種中7業種が景況拡大を報告。業況が縮小は11業種だった。

米ドル-円, 5分足, #100



出所 : Net Dania

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米建設支出(前月比) -0.7% (予想 0.3%・前回 -0.3%)

前回発表の0.0%から-0.3%に修正



出所 : Bloomberg

8月の米建設支出は、年率換算で前月比-0.7%の1兆1421億5200万ドルとなり、金額ベースで昨年12月以来8ヵ月ぶりの低水準となった。公共部門が2ヵ月連続のマイナスとなったほか、民間部門も減少に転じたことで、全体が押し下げられた。

①民間の建設支出は、前月比-0.3%の4491億8800万ドルと4ヵ月ぶりのマイナスとなった。住宅建設が前月比-0.3%と3ヵ月ぶりに減少し、主力の一戸建て住宅がふるわなかった。住宅以外の建設は、前月比-0.4%の4224億4400万ドルとなり、商業、製造業などが減少した。

②公共部門の建設支出は、前月比-2.0%の2705億2100万ドルとなり、金額ベースで2014年3月以来の低水準となった。前年同月比でも-8.8%となった。州・地方政府が前月比-2.5%と金額ベースで2014年3月以来の少ない水準。連邦政府は+4.0%と3ヵ月ぶりにプラスとなった。

＜欧州のポイント＞

①ギリシャ政府は、議会に2017年予算案を提出した。予算案では2.7%の力強い成長を見込むほか、国際債権団と合意したプライマリーバランス（基礎的財政収支）黒字目標を達成する意向を示した。公的債務のGDP比率は174.8%、失業率は22.4%にそれぞれ低下するとしている。基礎的財政黒字はGDP比1.8%と、2016年の0.63%から上昇する見通し。ギリシャは、2014年0.7%のプラス成長を達成したが、2008年以降リセッションから脱却できていない。

②英政府は、主要な経済問題となっている住宅不足に対応するため、50億ポンド（約65億ドル）の住宅建設刺激策を発表した。公有地の使用、住宅建築業者の市場への参入を支援するなどして、住宅建設促進に20億ポンド（26億ドル）を拠出する計画。政府は、残りの30億ポンドの使い途について、小規模な建設業者への短期貸付に10億ポンド、長期のインフラ整備に20億ポンドを割り当てる計画だと説明した。ハモンド財務相は、「住宅建設を加速し、住宅がより手頃な価格になるよう、利用可能なすべての手段を使う」と、バーミンガムで開催されている年次党大会での演説に先立ち、声明で述べた。

③欧州債券市場で、スペイン国債10年物の利回りが低下し、過去最低水準を更新した。スペインでは、ラホイ暫定首相が率いる国民党が連立政権を樹立できていない状態が続いており、1日に最大野党・社会労働党のサンチェス党首が辞任したことで、新政権成立に道が開かれたと受け止められた。10年債の利回りは約2bp低下の0.866%近辺で推移している。一方、イタリアやポルトガル国債は1-2bp上昇した。

④メイ英首相は、保守党の年次党大会で「第50条を来年3月末までに発動する」と明言した。メイ首相が、離脱交渉開始の具体的な時期に言及したのは初めて。EU離脱手続きの規定では、EU基本条約（リスボン条約）50条を発動し、離脱を正式に告知してから原則2年で交渉を終える必要がある。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英国のEU離脱に伴うリスクが意識されて英ポンドが下落したことを背景に、輸出企業の収益改善期待が広がったことが好感され、英FT100指数は1.2%以上の上昇となった。ただ、イタリアやスペイン株が下落となった。なお、独市場は休場となった。



出所：Bloomberg

1:35

◀ 要人発言 ▶

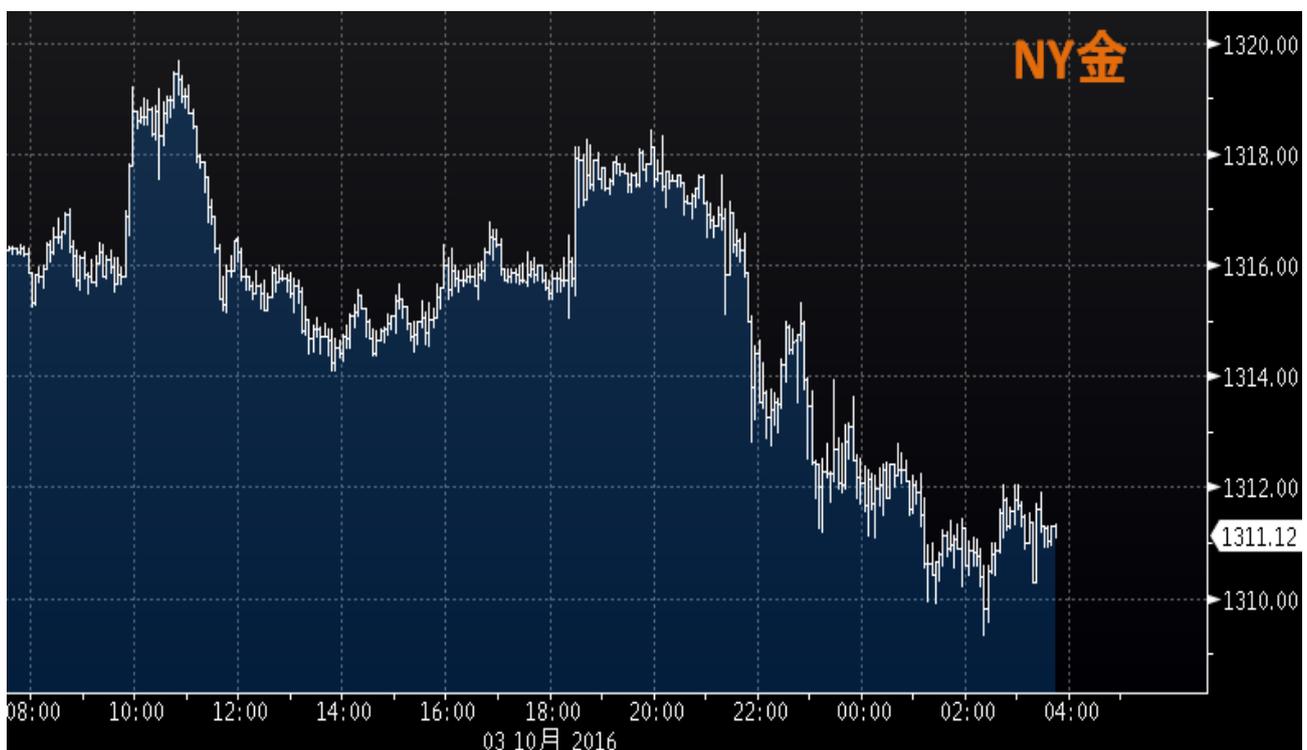
ダドリー・NY連銀総裁

- ・「金融政策は、なおも緩和的」
- ・「緩やかな成長は抑制された金融政策を反映している」
- ・「景気後退リスク上昇を懸念するエコノミストもいる」
- ・「市場の流動性について、有意な減少を示す証拠はない」

◀ NY金市場 ▶

NY金は、中心限月が前日比4.40ドル安の1オンス=1312.70ドルで取引を終了した。

NY金は、製造業関連の米経済指標が堅調だったことで、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。

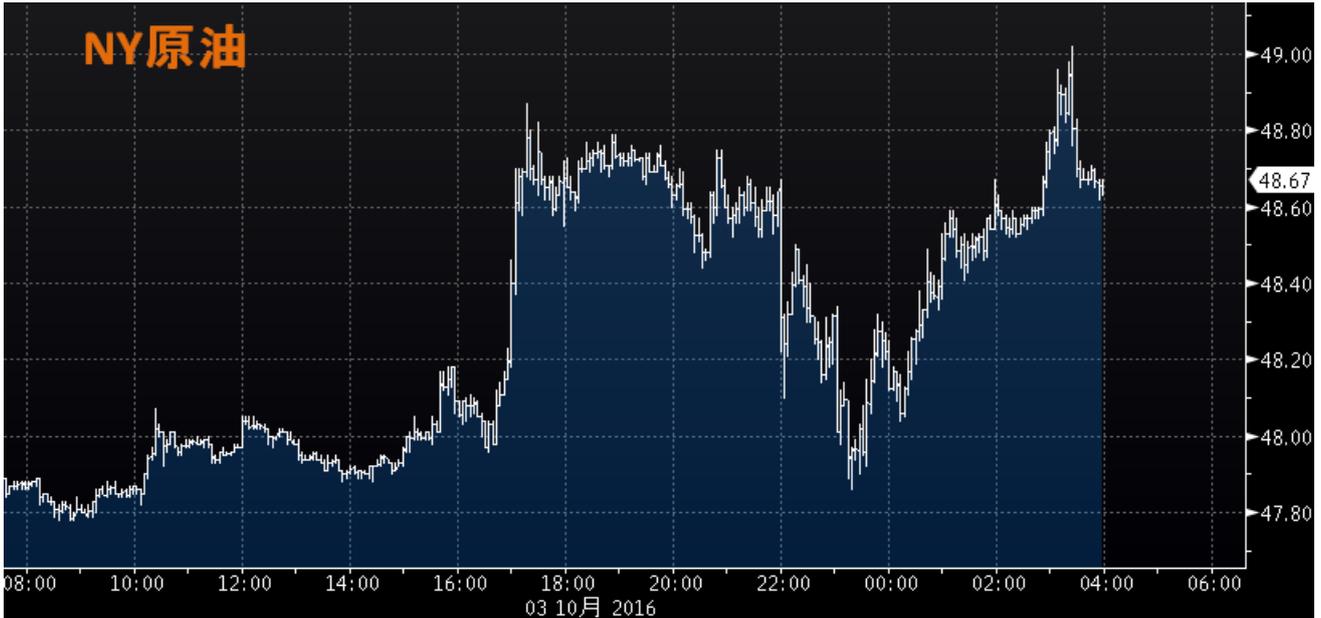


出所：Bloomberg

◀ NY原油市場 ▶

NY原油は、中心限月が前日比0.57ドル高の1バレル=48.81ドルで取引を終了した。

NY原油は、OPECが合意した原油減産に、OPEC非加盟国も同調すると楽観的な見方が広がり、一時1バレル=49ドル台まで上昇する場面もあった。終値ベースでは、7月上旬以来約3カ月ぶりの高値となった。



出所：Bloomberg

4:10

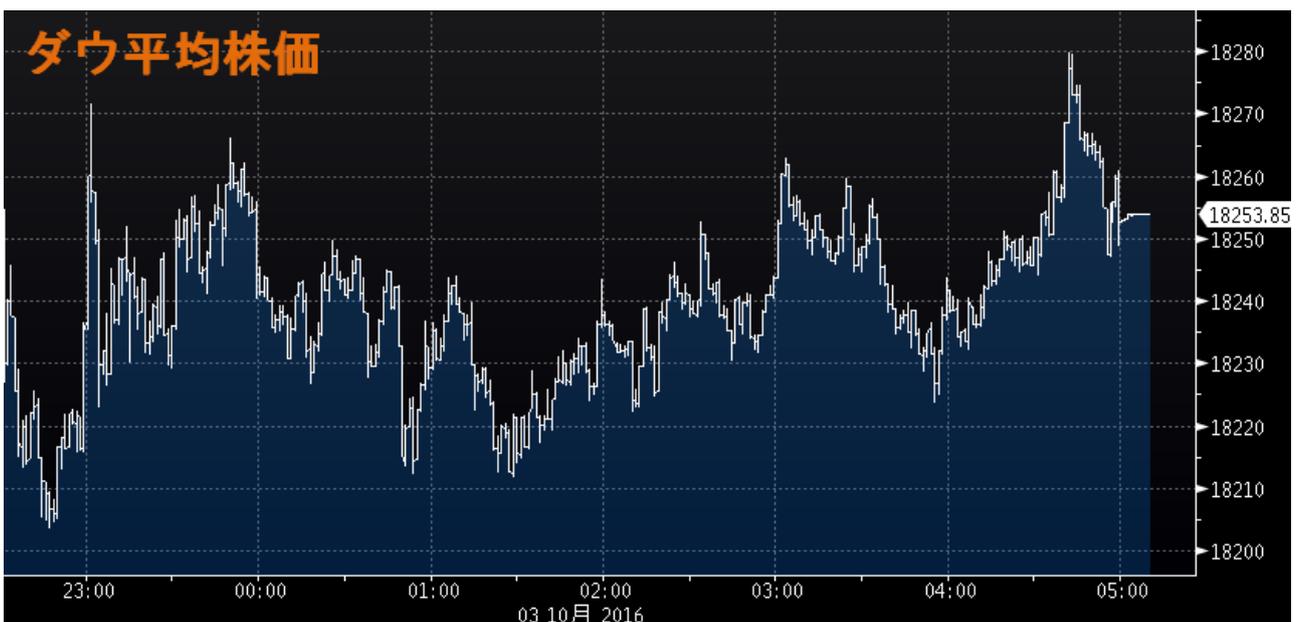
《 要人発言 》

メスター・クリーブランド連銀総裁

- ・「利上げに際しては予防的であるべきだ」
- ・「データが予想通りなら11月の利上げシナリオに説得力も」
- ・「2%のインフレ率を待てば、引き締めが速まるリスクがある」
- ・「米労働市場はかなり堅調に推移している」

《米株式市場》

米株式市場は、序盤から利益確定の売りが先行したが、9月の米製造業景況指数が市場予想を上回ったことで買い戻しも入り、下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤に前週末比104ドル安まで下落したものの、その後は下げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、序盤から小動きとなったものの、米経済指標が予想を上回る結果となったことから、ドルが主要通貨に対して上昇となった。その後は、様子見ムードから、限定的な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。